別紙8

仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

報　告　書

平成７年３月

仙南地域広域行政事務組合

株式会社　日さく

Ⅰ　調査概要

１－１　はしがき

本調査は、仙南地域広域事務所より御依頼のあった「仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託」を株式会社日さくが実施したものであります。

ここに現場作業並びに解析検討が終了しましたので、これらの結果をとりまとめ御提出致します。

Ⅰ－２　調査内容

調査件名：仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

調査場所：宮城県白石市郡山字黒山地内

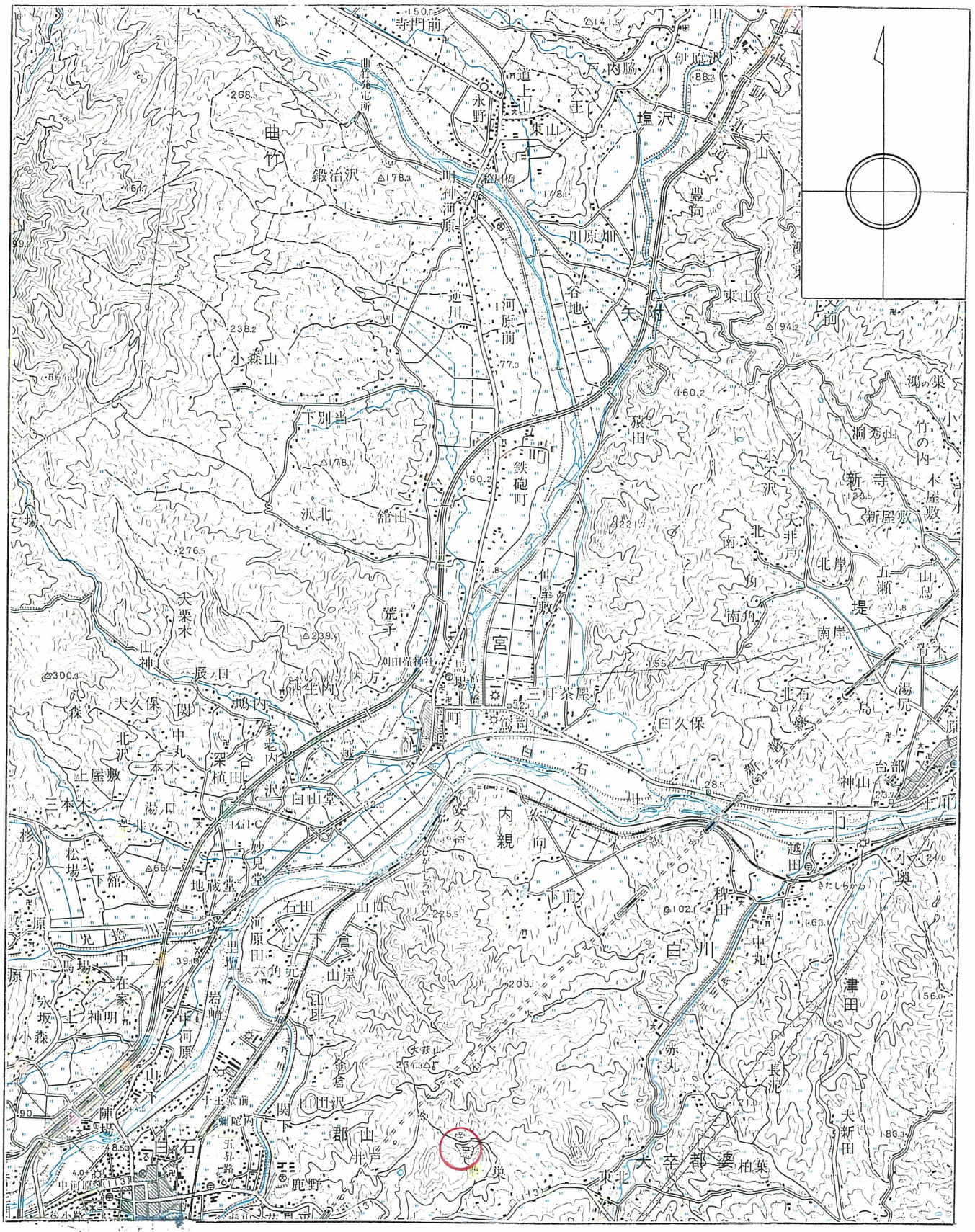
調 査 者：仙南地域広域事務組合

調査期間：自　平成６年１２月１５日
　　至　平成７年　３月２５日

調査目的：本調査は、仙南最終処分場の整備計画を進めるにあたり、仙南最終処分場建設予定地の地質等に関する資料を得ることを目的とする。

調査数量：調査数量表のとおり。

担　　当：株式会社　日さく　仙台支店
　　主任技術者　：　館 山 省 吾
　　現場代理人　：　千葉　　譲
　　解析・報告書：　小泉　　勇
　　館 山 省 吾
　　遠 藤 康 仁



1:50,000

1000 m　0　1000　2000　3000

図1.1　調　査　位　置　図

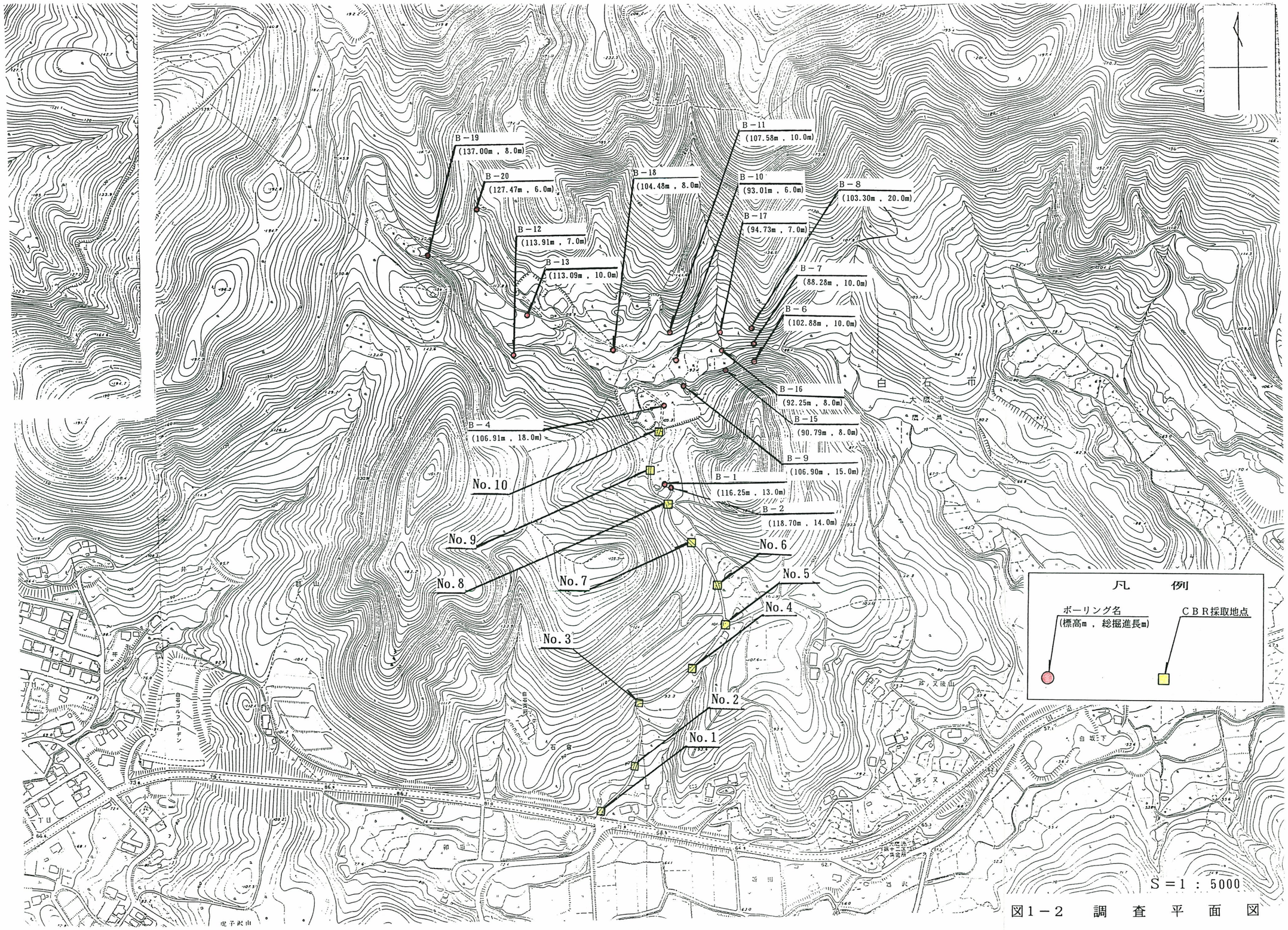

B－19
(137.00m , 8.0m)
B－20
(127.47m , 6.0m)
B－12
(113.91m , 7.0m)
B－13
(113.09m , 10.0m)
B－18
(104.48m , 8.0m)
B－11
(107.58m , 10.0m)
B－10
(93.01m , 6.0m)
B－17
(94.73m , 7.0m)
B－8
(103.30m , 20.0m)
B－7
(88.28m , 10.0m)
B－6
(102.88m , 10.0m)
B－16
(92.25m , 8.0m)
B－15
(90.79m , 8.0m)
B－9
(106.90m , 15.0m)
B－4
(106.91m , 18.0m)
B－1
(116.25m , 13.0m)
B－2
(118.70m , 14.0m)
No.10
No.9
No.8
No.7
No.6
No.5
No.4
No.3
No.2
No.1
白石市
凡例
ボーリング名
(標高m , 総掘進長m)
CBR採取地点
S＝1：5000

図1－2　調　査　平　面　図

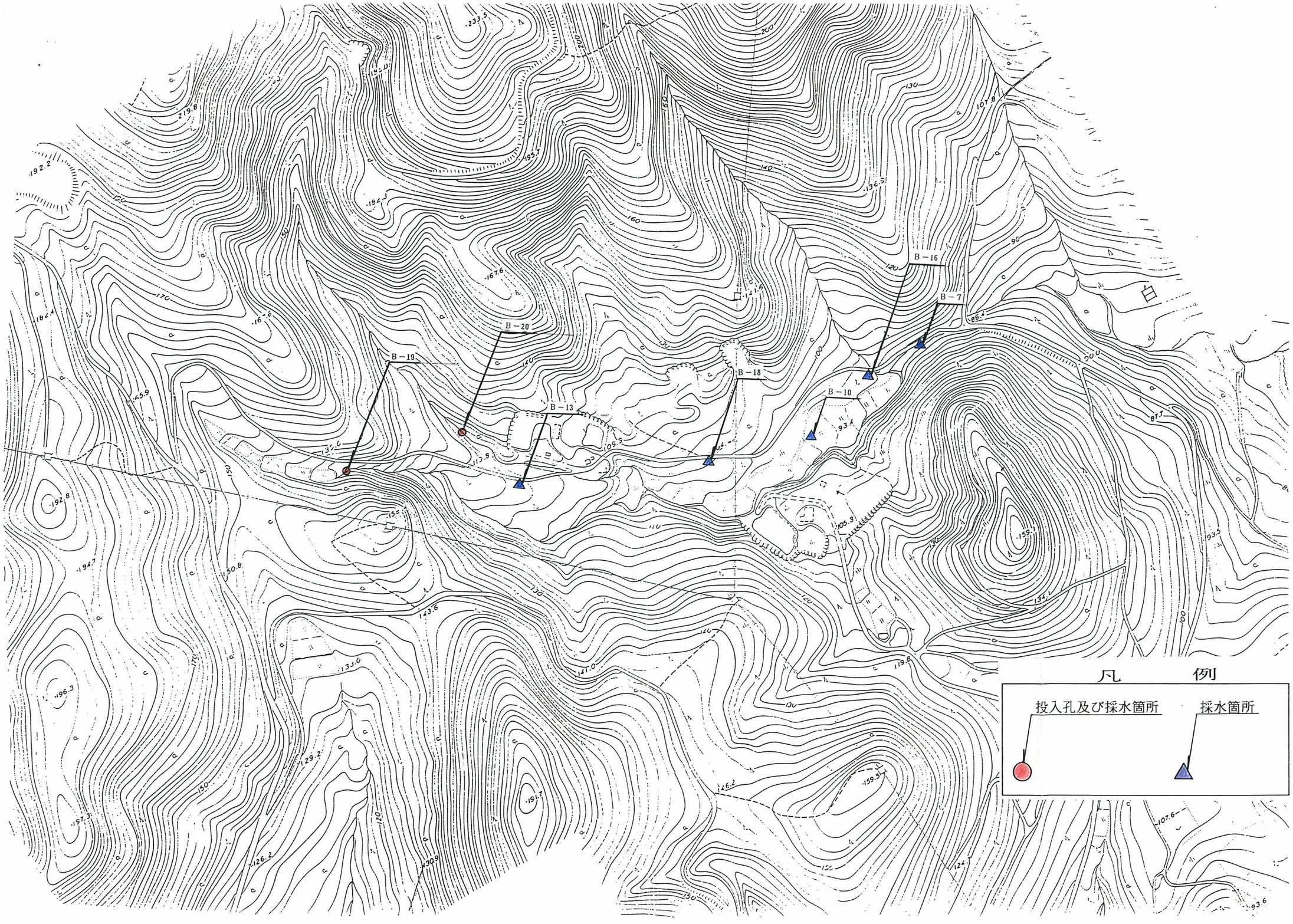
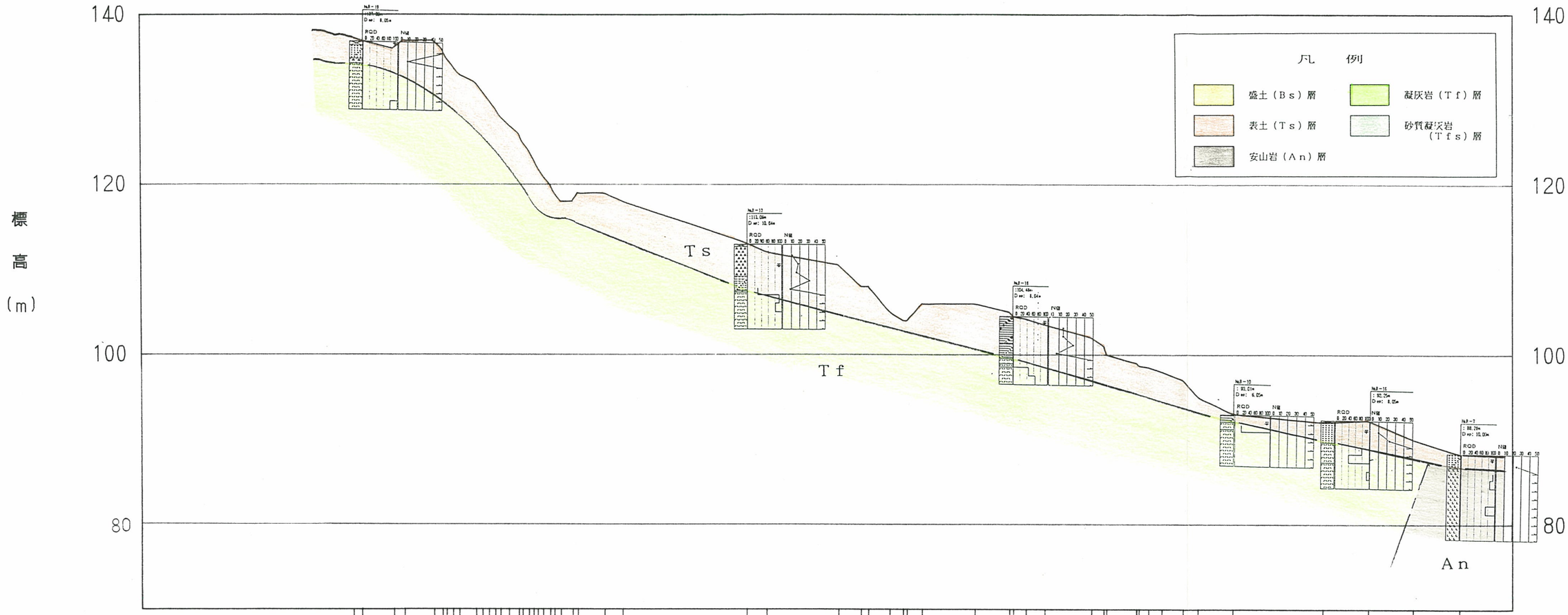


図３－１１　地下水追跡調査平面図

F－F' 断面

Scale H = 1 : 2000
V = 1 : 500



測点No.	地盤高（m）	単距離（m）	追加距離（m）
0	137.33	0.00	0.00
1	137.00	3.90	3.90
2	136.00	15.10	19.00
3	137.00	5.00	24.00
4	137.00	14.00	38.00
5	[illegible]	4.00	[illegible]
6	[illegible]	[illegible]	[illegible]
7	[illegible]	[illegible]	[illegible]
8	[illegible]	[illegible]	[illegible]
9	[illegible]	[illegible]	[illegible]
10	[illegible]	[illegible]	[illegible]
11	[illegible]	[illegible]	[illegible]
12	[illegible]	[illegible]	[illegible]
13	[illegible]	[illegible]	[illegible]
14	[illegible]	[illegible]	[illegible]
15	[illegible]	[illegible]	[illegible]
16	[illegible]	[illegible]	[illegible]
17	[illegible]	[illegible]	[illegible]
18	[illegible]	[illegible]	[illegible]
19	[illegible]	[illegible]	[illegible]
20	[illegible]	[illegible]	[illegible]
21	[illegible]	[illegible]	[illegible]
22	[illegible]	[illegible]	[illegible]
23	[illegible]	[illegible]	[illegible]
24	[illegible]	[illegible]	[illegible]
25	119.00	2.50	106.50
26	119.00	12.70	119.20
27	118.00	8.60	127.80
28	113.09	58.30	186.10
29	112.00	9.50	195.60
30	110.50	34.40	230.00
31	108.00	10.60	240.60
32	108.00	3.40	244.00
33	105.00	10.00	254.00
34	104.00	6.20	260.20
35	[illegible]	[illegible]	[illegible]
36	106.00	7.00	289.00
37	106.00	25.00	294.00
38	105.00	16.60	310.60
39	[illegible]	6.40	316.80
40	[illegible]	[illegible]	[illegible]
41	103.50	8.90	327.50
42	102.00	21.70	349.20
43	101.00	6.00	355.20
44	100.00	1.40	356.60
45	99.00	13.40	370.00
46	[illegible]	[illegible]	[illegible]
47	[illegible]	[illegible]	[illegible]
48	98.00	6.70	382.50
49	97.00	10.00	392.50
50	95.00	7.30	399.80
51	93.01	16.20	416.00
52	92.00	42.20	458.20
53	92.25	21.60	479.80
54	90.00	21.20	501.00
55	88.28	21.70	522.70

図 3－12　推定地質断面図（6）

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

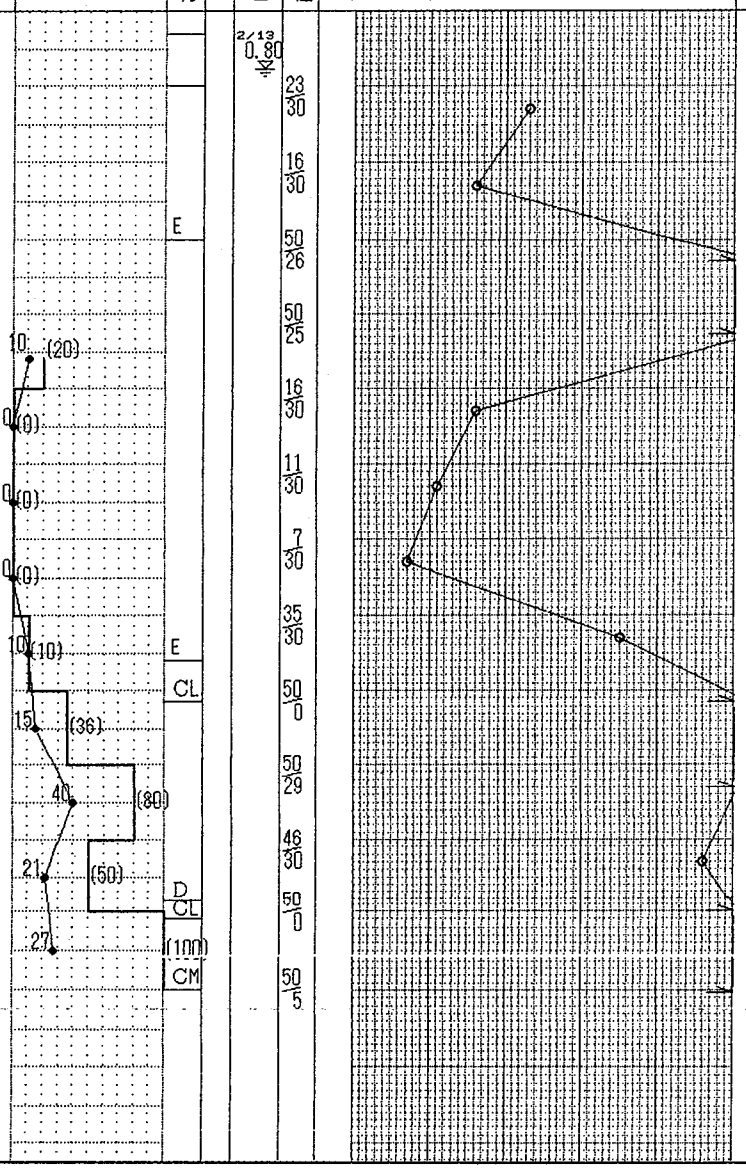
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-1	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月11日 ～ 平成 7年 2月15日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	116.25m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－1
総掘進長	13.00m								エンジン：　ポンプ：

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 N値
	115.95	0.30		表土Ss	黒茶						草根含むシルト。			
	115.25	1.00		粘土 Cl	茶褐						茶褐色を呈し、やや含水する粘土。粘性強い。		2/13 0.80	
1											全体に風化変質し、原岩組織を喪失する凝灰岩			23/30
2											砂状、土砂状を呈し、脆弱である。 ところどころ岩片状となる。			16/30
	113.25	3.00		砂質凝灰岩 TfS	灰	E	VI	d	δ	4		E		
3											コアは短棒状を主体とするが、部分的に角礫状～土砂状を呈する。			50/26
4											深度4m付近では、やや硬質であるが、深くなるにつれ軟質となる傾向を有する。			50/25
5											深度7m付近では、強風化を被り、粘土状を呈する。			16/30
6											非常に軟質で、弱い指圧で容易に変形する。			11/30
7											7．80m付近でコア形状を保つが崩壊性に富む。			7/30
8														35/30
	107.65	8.60		凝灰岩 Tf	白灰	D	IV	d	δ	4		E		
9	107.10	9.15		安山岩An	黒灰	B	III	c	γ	2	転石と考えられる硬質な安山岩。	CL		50/0
10											風化はしているが、全体に棒状～短棒状のコア形状を保つ凝灰岩。 ところどころ亀裂を有し、粘土が付着する。			50/29
11											色調は黄褐色を基本とするが、ときおり黒味えお帯びる。			46/30
	104.40	11.85		砂質凝灰岩 TfS	茶灰	C	III	d	δ	3		D		
12	104.15	12.10		安山岩An	黒灰	B	III	c	γ	3	角礫状の安山岩、風化している。	CL		50/0
13	103.25	13.00		凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	b	β	2	全体に棒状として採取される凝灰岩 表面に酸化汚染の痕跡が認められ、亀裂は開口している。	CM		50/5
14														

コア採取率 —×— (%)　最大コア長 —・— cm　RQD —|— (%)



原位置試験	室内試験(岩石試験)	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	12.00 軸 13.00	2/13	2/14	2/15						

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-2	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月15日 ～ 平成 7年 2月18日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	118.70m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 東邦D－1
総掘進長	14.05m								エンジン　ポンプ

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 -×- (%) 最大コア長 -・- cm RQD ⊤|_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値－深度)図 0 10 20 30 40 50	原位置試験	室内試験(岩石試験)	掘進状況 掘進月日	掘進速度cm／時	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	118.55	0.15		シルトM	黒褐						腐食物を含むシルト。																
1	117.05	1.65		粘土 Cl	茶褐						やや含水し、指圧で容易に変形する粘土。 GL－1．50～1．62mはやや硬くなるが、酸化汚染が著しい。				12/30												
2											コア形状は主として粘土状の強風化凝灰岩。				11/30												
3											岩片や構成鉱物が完全置換され、原岩組織は消失している。全体に含水し、指圧で容易に変形する。			2/17 3.25 ▽	19/30			2/15								
4											深度6．7～7mでは、コア形状は円筒状を保つが、ハンマーの軽打で完全崩壊する。				16/30												
5											風化物は砂分が少なく、スライム状となる。				12/30												
6											深度を増すに従って茶色を帯びるようになる。				20/30												
7											GL－8．7～10．00m かろうじてコア形状を保つ砂質凝灰岩。				17/30			2/16									
8												10 (10)			8/30												
9												15 (15)			32/30												
10	108.70	10.00		凝灰岩 Tf	白灰	E	VI	d	ε	4			E		39/30												
11											深度10．6～12．0m 原岩組織の痕跡を残す凝灰岩。 指圧では崩壊しないが、ハンマーの打撃で崩壊する。	10 (10)			32/30												
12	106.40	12.30		砂質凝灰岩 TfS	茶灰	D	VI	d	δ	3		15 (15)	D		50/15		12.00										
13											棒状して採取される比較的堅固な凝灰岩。 表面はやや酸化汚染により赤褐色を帯びる。13．00m以深では亀裂が認められる。	29 (70) 82 (100)			50/5		13.00										
14	104.65	14.05		凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	b	β	2			CH		50/5			2/17									

株式会社　日　さ　く

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

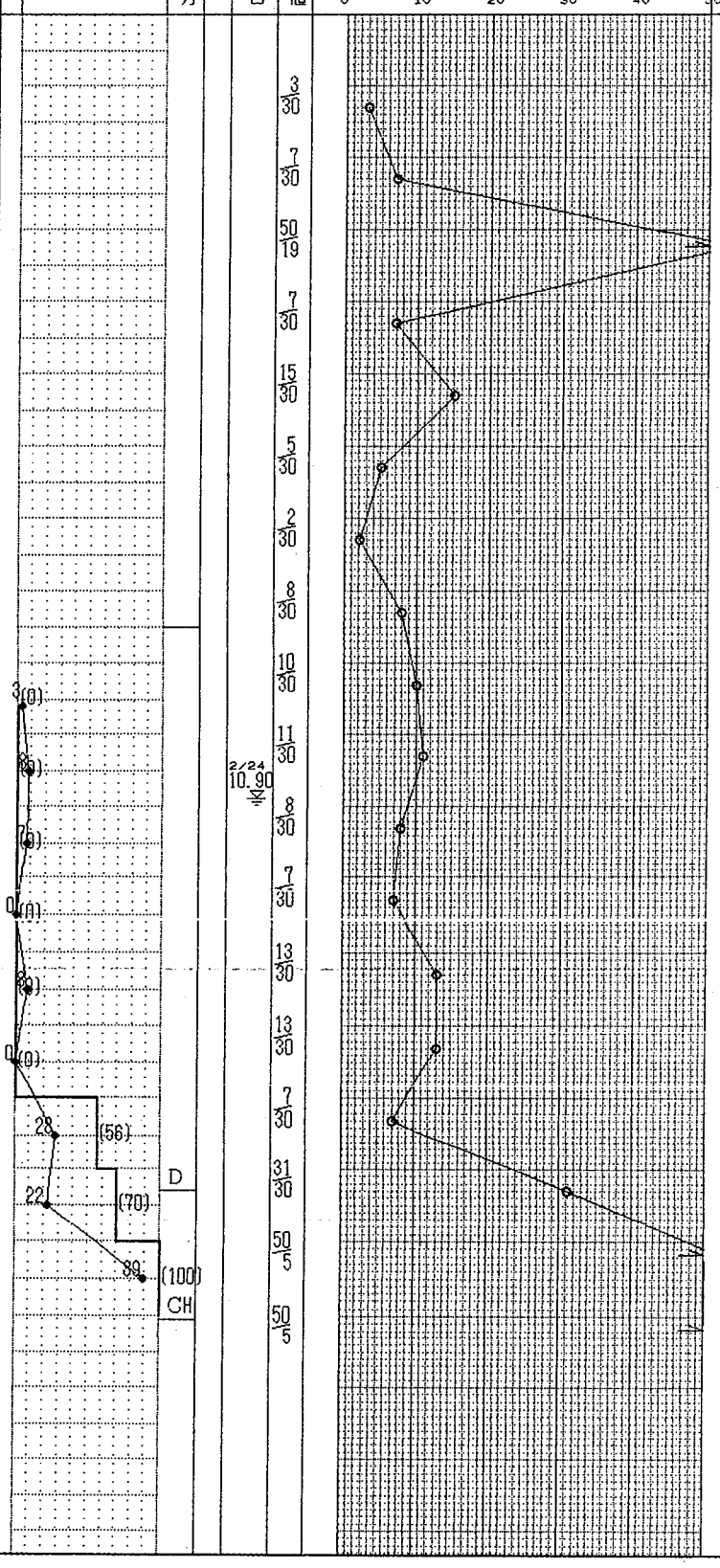
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-4	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月22日 ～ 平成 7年 2月24日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	106.91m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 カノーKR-150
総掘進長	18.05m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 -×- (%) / 最大コア長 -・- cm / RQD ~I_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値-深度)図	原位置試験	室内試験(岩石試験)	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
1											深度0.00~0.30m 腐植物を含む礫混りの表土。				3/30												
2											深度0.80~5.20m φ1~3cmの礫を含む礫質土。				7/30												
3											深度0.80~5.20m φmax=10cm程度の角礫を含む埋土。深度3~4m付近では角礫が卓越し、非常に硬質となっている。色調は黒灰を主体とする。				50/19												
4											深度5.20~8.50m 細礫~中礫を多く含む埋土。全体に土砂状を呈し、空隙率が高い。				7/30												
5											色調は、下部ほど白味を帯びてくる。				15/30												
6					茶褐										5/30												
7					～黒灰										2/30												
8	98.41	8.50		埋土 FI	～茶灰										8/30												
9											全体に土砂状~砂状を呈し、原岩組織の痕跡を全く残さない砂質凝灰岩	3 (0)			10/30			2/23									
10											ところどころ円筒状となるが、非常に軟弱で指圧で容易に変形する。				11/30												
11											強風化物である砂・粘土はやや含水している。	8 (0)		2/24 10.90 ▽	8/30												
12											全体に風化・変質が著しく構成鉱物や岩片等は、変質鉱物で完全置換されている。	7 (0)			7/30												
13											深度15.40m付近より、やや硬くなるが指圧で変形する。	0 (0)			13/30												
14												8 (0)			13/30												
15					白灰							0 (0)			7/30												
16	90.61	16.30		砂質凝灰岩 TfS	～茶灰	E	VII	d	ε	4		28 (56)	D		31/30		16.00										
17											コア長20cm以上で堅固な凝灰岩。表面や亀裂面で酸化汚染が認められる。	22 (70)			50/5		一軸										
18	88.86	18.05		凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	b	β	2	ハンマーの打撃で金属音を発する。	39 (100)	CH		50/5		17.00	2/24									
19																											
20																											



株式会社　日　さ　く

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-6	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 1月19日 ～ 平成 7年 1月23日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉　譲	コア鑑定者	橋野　剛	ボーリング責任者	千葉　譲
孔口標高	102.88m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	10.00m							試錐機	東邦D－0
								エンジン	ポンプ

尺 (m)	標高 (m)	標度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	102.18	0.70		表土 Ss	黒褐						φmax＝4cm程度の礫を含む、植物根含有の砂質土。
1	101.28	1.60				D	Ⅳ	d	δ	4	0．70～1．50m 土砂状～角礫状を示す風化安山岩。構成鉱物は、変質鉱物に置換されている。 1．50～2．80m 角礫状～短棒状を示す新鮮な安山岩 2．80～10．00m 全体に短棒～棒状を示す新鮮な安山岩。 深度4．50～10．00mでは亀裂面での酸化汚染は認められるものの、原岩組織を完全に残している。 一部に茶褐色を示す風化部が存在するが、ハンマーの軽打では容易に崩壊しない。 N値はすべて50以上（反発）と得られ、RQDも100となる。
2											
3											
4	98.58	4.30				C	Ⅲ	c	γ	3	
5											
6											
7											
8											
9											
10	92.88	10.00		安山岩 An	暗灰	B	Ⅱ	b	β	2	

コア採取率 －×－ (%)　最大コア長 －・－ cm　RQD ¯|_ (%)

岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
D		50/10			1/19								
		50/0											
		50/0		3.00									
CL	1/21 4.80 ≒	50/0		一軸 4.00									
		50/0											
		50/0											
		50/0			1/20								
		50/0											
CH		50/0			1/21								

（標準貫入試験）（N値－深度）図　0　10　20　30　40　50

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

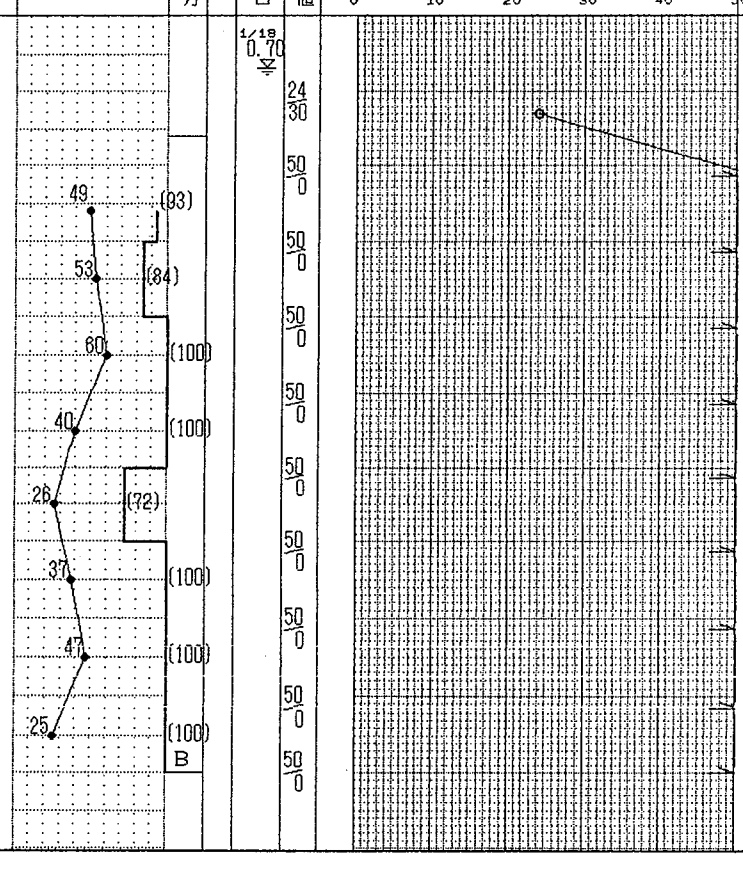
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-7	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 1月12日 ～ 平成 7年 1月18日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	88.28m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機 カノーKR-150
総掘進長	10.00m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1	86.68	1.60		礫混り砂質土 SF-G	茶褐						径最大7cm程度の角礫を含む礫入り砂質土。 深度0．40m以浅では、黒褐色を呈し腐植物を混入する。
2											深度2．80～3．00m 角礫状を呈し、原岩組織がわずかに認められる風化安山岩。
3											深度3．00～10．00m 全体にコア形状は棒状を呈し、新鮮な安山岩。
4											亀裂面では一部に酸化汚染の痕跡は認められるが、よく密着している
5											ハンマーの打撃で金属音を発する
6											深度2．80～5．00mでは有色鉱物の斑晶が際立つ。
7											非常に新鮮で、造岩鉱物の変質は認められない。
8											
9					暗青灰						
10	78.28	10.00		安山岩 An	灰	B	I	b	β	1	



孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入) 試験 N値	原位置試験	室内試験(岩石試験)	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

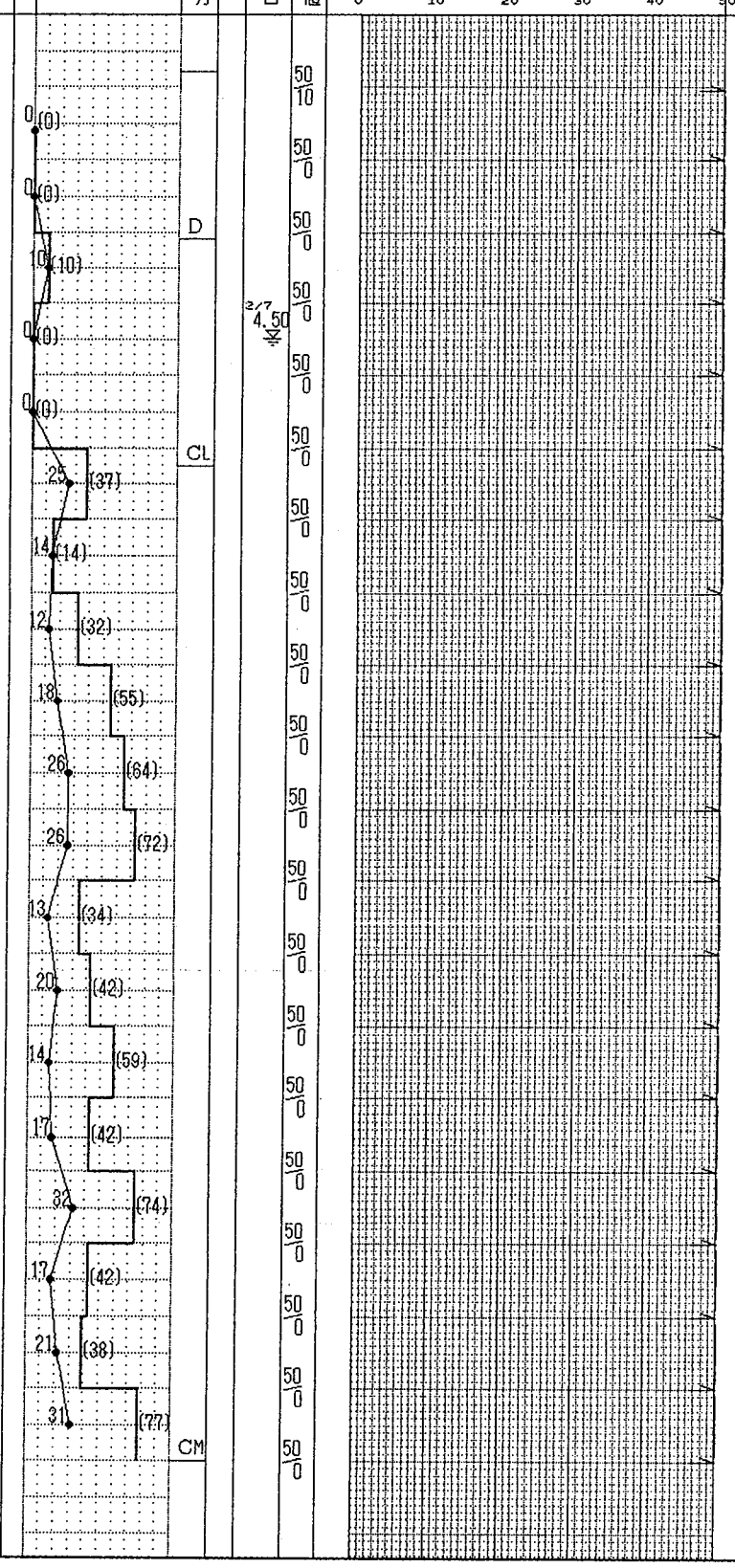
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-8	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 1月26日 ～ 平成 7年 2月 8日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	103.30m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 東邦D－0
総掘進長	20.00m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	102.70	0.60		礫混り砂質土SF-G	茶灰						茶灰色を呈し径1～2mm程度の礫を混入する砂質土
	102.50	0.80		礫質土GF	灰						全体に礫が卓越する
1				安山岩 An	暗灰	D	Ⅳ	c	δ	3	主に片状コアとして採取される強風化安山岩。 一部角礫状となり、表面は酸化汚染が著しい。 ハンマーの軽打でボロボロに砕ける。
3	100.20	3.10									
6	97.05	6.25		安山岩 An	暗灰	C	Ⅲ	b	δ	3	片状～短棒状の風化安山岩。 深度4．10m付近ではカルサイト脈の痕跡がみとめられる。 肉眼では風化は進行しているが、原岩組織の痕跡を明瞭にのこす。 亀裂は開口しており、赤褐色の粘土を挟む。
7											5～10cm程度の短棒状の安山岩 亀裂面での酸化汚染は一部に認められるが、粘土は付着しない。また、割れ目は開口している。 原岩組織を完全に残し一部に脱色が見られるものの新鮮である 亀裂角は0～90°と広い範囲を持ち、方向性に富む。 安山岩の斑晶が肉眼で観察される。とくに有色鉱物は一部に変質が認められるものの概ね新鮮である。 色調は基本的には灰色であるが、黒灰に変化したり、縞状模様を呈することがある。 ・14．20m付近 コアの原形は崩壊し、土砂状となる。 ・15．20～15．50m 亀裂面にカルサイト脈がみられる。深度15．0mでは風化・変質が進行しており脆弱である。 16．00m付近より安山岩中の組織（斑晶）は細粒となる。
20	83.30	20.00		安山岩 An	暗茶灰	C	Ⅲ	b	τ	2	



岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験（岩石試験）	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
		50/10											
		50/0											
D		50/0											
	2/7 4.50 ▽	50/0											
		50/0											
CL		50/0		6.00	1/27								
		50/0		一軸									
		50/0		7.00									
		50/0											
		50/0		10.00	1/28								
		50/0		一軸									
		50/0		11.00									
		50/0											
		50/0			2/6								
		50/0											
		50/0											
		50/0											
		50/0											
		50/0											
CM		50/0			2/7								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-9	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月21日 ～ 平成 7年 2月22日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	106.90m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－0
総掘進長	15.10m							エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 −×− (%) / 最大コア長 −•− cm / RQD ⊤|_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値−深度)図	原位置試験	室内試験 (岩石試験)	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
1											0.00~0.50m 10mm程度の小礫を50%位含む礫質土。				12/30												
2											0.50~3.70m 深度3.00m以浅では木片の未分解物が卓越する。 3.00m以深ではφmax1cm以下の細礫とシルト質粘土から構成される盛土。				6/30												
3											3.70~5.70m 細礫とシルト質の砂から構成される盛土。				9/30												
4											深度5.50m付近で相対密度は高くなるが、全体に軟弱な地盤状況を示す。N値も平均10程度と砂の相対密度としては、「緩い」部類に属する。				10/30												
5	101.20	5.70		盛土 BB	茶褐										50/30												
6											風化は進行しているが、一部に10~15cmのコア形状を示すシルト質~砂質凝灰岩。				6/30												
7											全体に脆弱で、指圧で容易に崩壊する。				19/30												
8											5.70~7.60m 原岩組織は完全に喪失しており、土砂状を示す。				17/30												
9											7.60~14.30m 片状~短棒状を呈する。一部に砂状~粘土状を示す。				23/30				2/21								
10											特に、GL−12.50m付近は崩壊が著しい。				9/30												
11											色調は灰色を主体とするが、ところどころ酸化色を呈する。また下位層ほど、茶灰色~白灰色に移行する。			2/22 11.25 ≒	9/30												
12											GL−11.00m付近は軟弱な地質状況を呈し、N値も9程度と低い値が得られている。				30/30												
13	93.60	13.30		凝灰岩 Tf	茶灰	E	VI	d	ε	4	GL−13.00m付近より硬質となり、堅固な地質状況を示す。		D		50/25												
14											一部粘土状となるものの棒状コアとして採取される火山灰質の凝灰岩。				50/10			14.00									
15	91.80	15.10		凝灰岩 Tf	灰	B	II	c	δ	2	色調は白灰色を呈する。N値も50以上と得られ、比較的堅固である。	42 (42)	CM		50/10			一軸 15.00	2/22								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

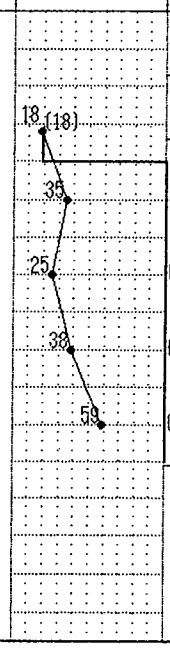
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-10	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成7年2月3日 ～ 平成7年2月3日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉　譲	コア鑑定者	橋野　剛	ボーリング責任者	千葉　譲
孔口標高	93.01m	角度	180°上 90° 下0°	方向	北0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直90° 水平0°	使用機種	試錐機：東邦D－0
総掘進長	6.05m								エンジン　ポンプ

尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	N値	原位置試験	室内試験	掘進状況
	92.16	0.85		礫混り粘性土C-G	黒褐						黒褐色を呈し、粘性が強く含水率が高い礫混り粘性土。		2/4 0.92	50/10			
1	91.31	1.70		凝灰岩 Tf	白灰	E	VI	d	ε	4	0．85～1．70m 原岩組織は崩壊し、風化変質が著しい凝灰岩。	D		50/8		2.00 一軸	
2											1．70～6．00m 短棒状～棒状のコア形状を保つ角礫凝灰岩。亀裂面で粘土は付着するが、酸化汚染の痕跡は認められない。	(100)		50/6		3.00	
3											全体に新鮮堅固でハンマーの軽打でも崩壊しない。マトリックス中には1～5cm程度の角礫が認められる	(100)		50/6			
4											下位層ほど亀裂が少なくなり、RQDも100となる。	(100)		50/5		5.00	
5											色調は白灰～淡青灰へと徐々に変化する。	(100) CM		50/5		一軸 6.00	2/4
6	86.96	6.05		凝灰岩 Tf	白灰	B	II	b	β	2							
7																	

コア採取率 －×－ (%)　最大コア長 －・－ cm　RQD ─|─ (%)



（標準貫入試験）N値－深度 0 10 20 30 40 50

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

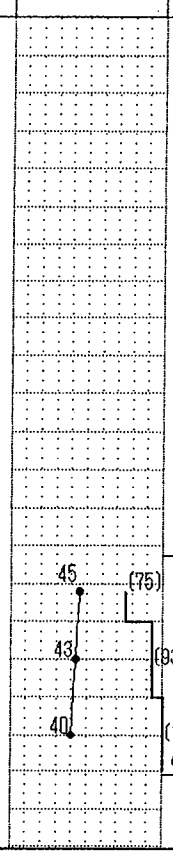
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-11	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月11日 ～ 平成 7年 2月12日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	107.58m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－0
総掘進長	10.05m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1											0.00～0.20m 植物根を混入する黒褐色の砂質土。 0.20～6.50m 全体に白灰～茶灰を示す礫混りの盛土。 下位層に進むほど茶色を帯びるようになる。 深度4.30mからは粘性を示すようになり、また高含水である。 円筒状を示すこともあるが、全体に土砂状となっている。指圧で容易に変形・崩壊する。 N値も2～7の範囲でえられ、非常に柔らかいコンステンシーを示している。従ってたいへん軟弱な地質状況を表している。 6.50m付近よりやや固結度が増す。
2											
3											
4											
5											
6	101.08	6.50		盛土 BB	白灰						
7	100.43	7.15		シルト質粘土CIM	暗茶						旧表土と考えられる粘性土。指圧で容易に変形する。
8											全体にコア形状は棒状を呈し、概して新鮮な角礫凝灰岩。 マトリックス中に含まれる角礫は1～3cm程度。 亀裂面では粘土が付着し、一部に赤褐色の酸化がみとめられる。
9											
10	97.53	10.05		凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	c	γ	2	亀裂角は90°であるものが多い。

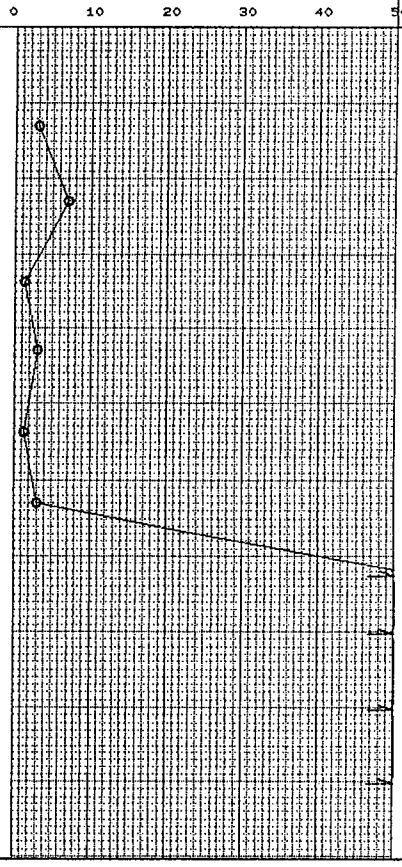
コア採取率 －X－ (%)　最大コア長 －・－ cm　RQD ─|─ (%)



岩級区分：CM

孔内水位(m)／測定月日：2/13 8.80 ※

（標準貫入）試験　N値　（N値－深度）図



原位置試験

室内試験（岩石試験）

深度 (m)	岩石試験
7.00	一軸
8.00	
9.00	一軸
10.00	

掘進状況

掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
2/13 T3								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-12	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月 7日 ～ 平成 7年 2月 8日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉　譲	コア鑑定者	橋野　剛	ボーリング責任者	千葉　譲
孔口標高	113.91m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－0
総掘進長	7.06m								エンジン　　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 −×− (%) / 最大コア長 −・− cm / RQD −|_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値−深度)図 0 10 20 30 40 50	原位置試験	室内試験(岩石試験)	掘進状況：掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
1	112.36	1.55		崖錐 Tl							0.00～0.10m 黒褐色を呈し、植物根を含む表土。 0.10～1.55m 砂質～シルト質の円筒状を保持する崖錐堆積物。			2/7 1.20	11/30											
2											短棒～棒状コアとして採取される風化凝灰岩。	15 (28)			50/4		2.00									
3	110.91	3.00		凝灰岩 Tf		C	II	c	τ	3	亀裂面での酸化汚染が著しい。 1.60m付近は片状を呈する。	36 (92)	CL		50/5		3.00									
4											棒状コアとして採取される非常に新鮮・堅固な凝灰岩。 L=10～80cmの棒状コアとして採取される。	55 (100)			50/5		4.00									
5											亀裂は全体に未発達であり、また深度を増すほどよく密着している。	69 (100)			50/6		5.00									
6											ハンマーの打撃で金属音を発する。	82 (100)			50/7											
7	106.85	7.06		凝灰岩 Tf		A	I	a	α	1	岩組織に含まれる角礫はφmax=3cm程度。	49 (100)	CH		50/6			2/7								
8																											

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

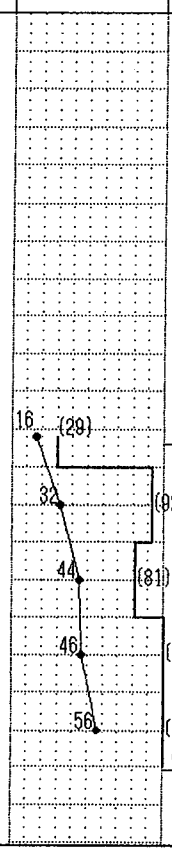
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-13	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成7年2月2日 ～ 平成7年2月6日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	113.09m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－1
総掘進長	10.04m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	112.79	0.30		表土Ss	暗茶						植物根混入する表土。
1 2 3	109.29	3.80		崖錐 Tl	暗茶						全体に茶褐色を呈する崖錐性堆積物 0．30～1．30m φmax＝3cm程度の礫が多く混入する。 1．30～3．80m 円筒状を示すシルト質粘性土。 粘性やや強く、含水する。 色調は基本的に茶褐色を呈する。
4 5	107.59	5.50		礫混り砂質シルト MS-G	暗茶						円筒形状を保ち、やや粘性があるシルト。 深度4．40m付近では固結度が高く、礫～岩片状となる。 暗緑～暗青色を呈しややくすんだ感じがする。
	107.39	5.70		礫G	暗茶						風化しているが硬質な礫・岩片。
6 7 8 9 10	103.05	10.04		凝灰岩 Tf	暗茶	B	II	b	β	2	コアは棒状を呈し、新鮮で堅固な凝灰岩。 5．70～5．90m 風化が進行し、酸化汚染が著しい。 表面および亀裂は赤褐色を呈する。 原岩組織の痕跡を極めて明瞭に残す 5．90～10．00m 色調は淡緑灰を基本とする新鮮棒状凝灰岩。 亀裂角は90°でやや開口しているが、新鮮である。

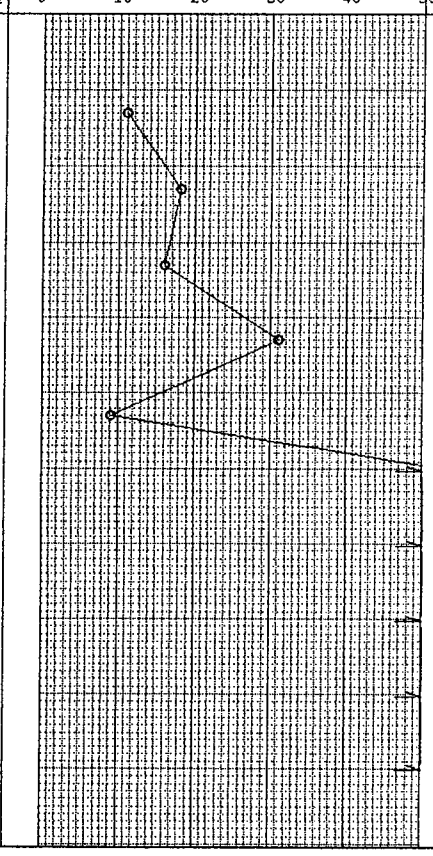
コア採取率 －×－ (%)　最大コア長 －・－ cm　RQD ‾|_ (%)



岩級区分：CM

孔内水位(m)／測定月日：2/4 2.50 ▽

（標準貫入　）試験　（N値－深度　）図



N値	原位置試験	室内試験（岩石試験）	掘進状況：掘進日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm／孔壁保護)	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
11/30											
18/30			2/2								
16/30											
31/30											
9/30											
50/7		6.00									
50/6		一軸 7.00	2/3								
50/6											
50/6		9.00									
50/4		一軸 10.00	2/4								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

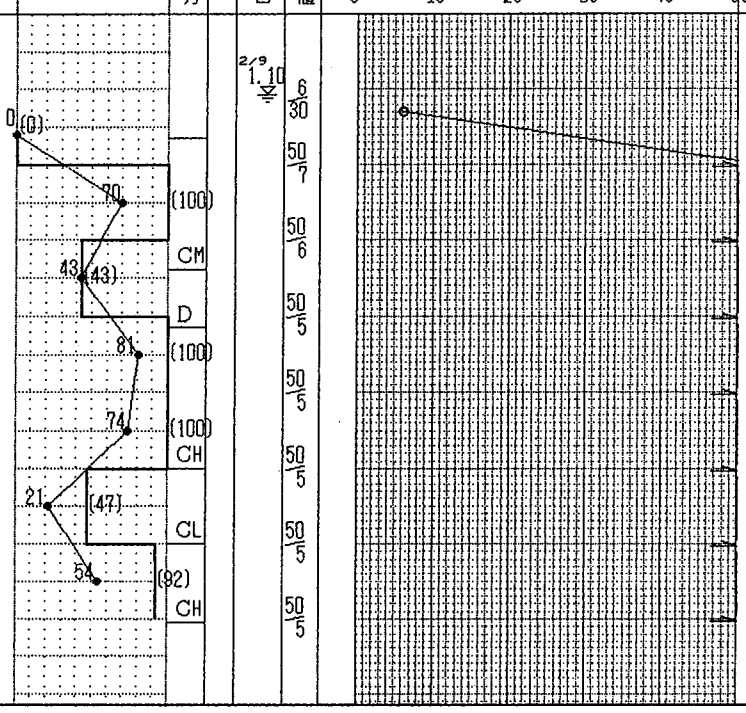
ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-15	調査位置	白石市郡山字黒岩地内							北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合				調査期間	平成 7年 1月24日 ～ 平成 7年 1月25日				東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾		現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛		ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	90.79m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦D－1	
総掘進長	8.05m								エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
1	89.14	1.65		崖錐 Tl	黒褐						0.00～0.80m 植物根や細礫を含む表土。 0.80～1.85m φ＝1～3cm程度の礫が卓越するシルト。
2											白灰色～淡緑灰色を主体とする凝灰岩。 全体に棒状コアとして採取される新鮮・堅固な凝灰岩であるが、風化変質が進行している。
3	87.39	3.40				B	Ⅱ	b	γ	2	
4	86.64	4.15			淡青灰	E	Ⅴ	d	ε	3	3.50～3.90m コア形状、原岩組織は崩壊し、その痕跡は認められない。
5											30°の亀裂面に沿って酸化汚染により赤褐色化が著しく、またその周辺部も脆弱である。
6	84.79	6.00			～	A	Ⅰ	b	β	2	
7	83.79	7.00			淡緑灰	C	Ⅲ	c	γ	2	色調は淡緑灰を基本色とするが、白灰や淡青灰を呈することがある。
8	82.74	8.05		凝灰岩 Tf		A	Ⅰ	a	β	1	



株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-16	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 1月24日 ～ 平成 7年 1月25日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	92.25m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－1
総掘進長	8.05m								エンジン：　ポンプ：

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 -×- (%) / 最大コア長 -・- cm / RQD -|_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値－深度)図	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	92.05	0.20		表土Ss	黒褐						植物根を含むシルト質の表土。																
1											黒褐色を呈する粘土～シルト質砂質土。 GL－1．00m付近に7cm程度の礫を混入する。			1/25 1.20	10/30											
2											全体に軟質で高含水である。				23/30				1/24								
	89.60	2.65		砂質土 SF	暗褐																						
3											上層では風化変質が著しいが、深度が増すほど新鮮・棒状となる凝灰岩 2．65～3．00m				50/15												
4											コア形状は、岩片～礫状となり、原岩組織も完全に崩壊している。 3．00～5．00m	46 (78)			50/7											
5	87.25	5.00		凝灰岩 Tf	淡緑灰	C	II	c	τ	3	変質はしているものの、原岩組織の痕跡は認められる。	18 (39)	CL		50/6												
6											GL－4．40m付近に鋭角で粘土を狭在する弱部が認められる。 全体に新鮮棒状の凝灰岩。比較的堅固である。	81 (100)			50/6												
7											RQD＝100となり、完全に棒状となる。	35 (92)			50/5												
8	84.20	8.05		凝灰岩 Tf	淡緑灰	A	I	b	β	1	亀裂には一部粘土が付着する。	72 (100)	CH		50/5				1/25								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

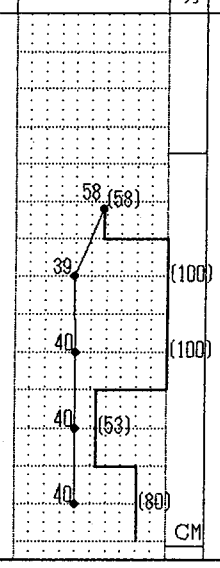
ボーリングNo.

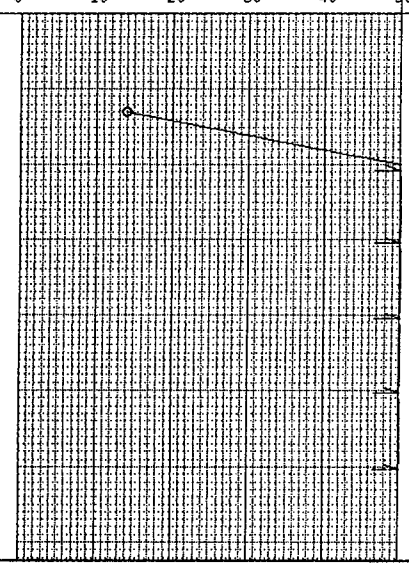
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-17	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成7年2月9日 ～ 平成7年2月10日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉　譲	コア鑑定者	橋野　剛	ボーリング責任者	千葉　譲
孔口標高	94.73m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：東邦D－0
総掘進長	7.06m							エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分
	94.43	0.30		表土Ss	暗灰						旧表土に敷石したとみられる砕石	
	94.03	0.70		砂質土SF	茶褐						茶褐色を呈する旧表土	
1	92.88	1.85		礫混り砂質土 SF-G	淡緑灰						下位層の凝灰質起源の礫混り砂質土 粘性ややあり、含水している。	
2				凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	c	τ	2	全体に新鮮な角礫凝灰岩。 1.85～2.30m 土砂状～岩片状で岩組織は崩壊している。 2.30～7.00m 概して新鮮であるがところどころ変質鉱物を伴う。 亀裂面はいずれも低角で開口している。 表面には一部粘土が付着する。 GL－6.90m付近は崩壊している。 色調は淡緑色を基本とするが、ときおり白灰色を示すことがある。	CM
3												
4												
5												
6	87.67	7.06										





孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径(mm)／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
2回 0.20≧	14/30											
	50/16											
	50/8											
	50/9											
	50/6											
	50/6			2/9								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-18	調査位置	白石市郡山字黒岩地内			北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 1月30日 ～ 平成 7年 2月 2日	東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	104.48m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：カノーKR-150
総掘進長	8.00m								エンジン：　ポンプ：

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 -×- (%) 最大コア長 -・- cm RQD ¯	_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値-深度)図 0 10 20 30 40 50	原位置試験	室内試験	掘進状況：掘進月日	掘進速度(cm/時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg/cm²)	送水量(l/分)	排水量(l/分)
1 2 3	101.28	3.20		シルト質粘性土 CM	茶褐						含水多くやや粘性が強いシルト質粘土。 色調は茶褐色を主体とするが、暗茶色～茶灰色と変化する。 指圧で容易に変形し、軟弱な地質状況を呈する。 部分的に細粒砂を含みざらざらした感じがする。			2/1 0.70 ▽	15/30 15/30 27/30											
4 5	99.48	5.00		礫混り粘性土 C-G	暗灰						やや砂分（細粒～中粒砂）が多くなる礫混り砂質土。 円筒状を保つが、変形、崩壊性に富む。 GL－4．90m付近に3cm程度の礫を混入する。				8/30 50/10				1/30							
	98.88	5.60		凝灰岩Tf	茶灰	E	V	d	ε	4	岩片状となり　風化が著しい凝灰岩ハンマーで容易に崩壊する。	0 (0)	D														
6	98.48	6.00		凝灰岩Tf	灰	E	VI	d	ε	4	コア原形は崩壊し、土砂状となる。		E		50/6												
7 8	96.48	8.00		凝灰岩 Tf	淡緑灰	C	III	c	γ	3	やや風化しているものの、コアは短棒形状を示し、比較的堅固な凝灰岩 亀裂は開口し、その面には粘土が付着する。GL－6．45m付近は亀裂に沿って酸化汚染がみとめられる	38 (44) 20 (64)	CL		50/4 50/4				1/31							

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

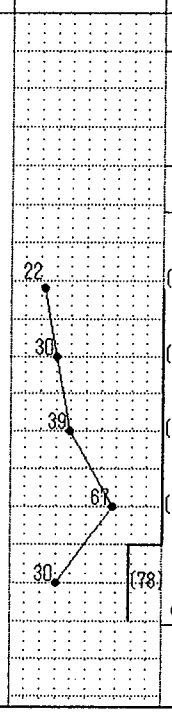
事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-19	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成 7年 2月14日 ～ 平成 7年 2月15日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	137.00m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機 カノーKR-150
総掘進長	8.05m								エンジン　ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事
	136.50	0.50		表土Ss	暗黒灰						黒褐色を呈する粘性強い表土。
1	135.00	2.00		礫混り砂質土 SF-G	茶灰						φ＝1～3cm程度の礫を30%位含む砂質土。 全体に円筒形状を示し、粘性強くやや含水する。
2	134.40	2.60		シラスSi	白灰						膨潤性に富み、非常に軟弱な火山灰起源の粘性土。
3											全体に棒状コアとして採取される比較的堅固な凝灰岩。
4											亀裂は90°のものが多く、開口し一部に酸化汚染の痕跡が認められる。
5											GL－7.00m付近は亀裂に沿って茶褐色の酸化面がみとめられ、粘土が付着する。
6											凝灰岩中のマトリックス中に存在する角礫岩片が変質鉱物により一部置換されている。
7											ハンマーの打撃により亀裂付近は鈍い音を発するが、概して金属音を発する。
8	128.95	8.05		凝灰岩 Tf	淡緑灰	B	II	b	β	2	

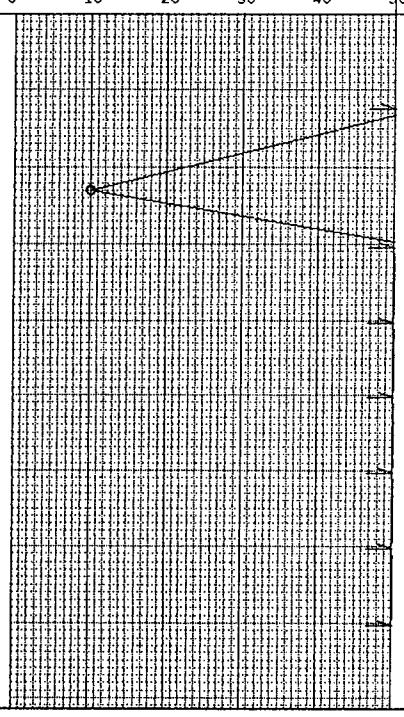
コア採取率 －×－ (%)　最大コア長 －・－ cm　RQD ‾|_ (%)



岩級区分：CM

孔内水位(m)／測定月日：0.20 2/14

（標準貫入試験）N値－深度 0 10 20 30 40 50



標準貫入試験 N値	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
40/20											
10/30											
50/8											
50/6											
50/6											
50/5											
50/5											
50/5			2/14								

株式会社　日さく

ボーリング柱状図

JACIC様式Ge101

調査名　仙南最終処分場建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	B-20	調査位置	白石市郡山字黒岩地内					北緯	
発注機関	仙南地域広域行政事務組合			調査期間	平成7年2月17日 ～ 平成7年2月21日			東経	
調査業者名	株式会社 日さく 022-252-5111	主任技師	館山省吾	現場代理人	千葉 譲	コア鑑定者	橋野 剛	ボーリング責任者	千葉 譲
孔口標高	127.47m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	6.03m							試錐機	東邦D－1
								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 -×- (%) / 最大コア長 -・- cm / RQD -|_ (%)	岩級区分	孔内水位(m)／測定月日	(標準貫入試験) N値	(N値－深度)図 0 10 20 30 40 50	原位置試験	室内試験	掘進状況 掘進月日	掘進速度(cm／時)	孔径mm／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧(kg)	回転数(rpm)	送水圧(kg／cm²)	送水量(l／分)	排水量(l／分)
	127.22	0.25		表土Ss	暗茶						植物根を混入する表土。																
	126.97	0.50		礫G	茶						φmax＝10cm程度の角礫群。			2.48 0.30													
1	126.17	1.30		粘性土 C	茶灰						含水多く非常に軟弱な粘性土。0.75m以深では、円筒形状を呈する				30/38												
2	125.17	2.30		凝灰岩 Tf	淡緑灰	C	Ⅱ	b	γ	3	やや酸化汚染が認められるが、短棒として採取される硬質な凝灰岩。亀裂は90°のものが多い。	29 (65)	CL		50/5												
3											短棒～棒状コアとして採取される凝灰岩。全体に亀裂がおおく、その角度は90°である。また深度を下げるほどよく密着している。GL－1.30m付近ではコア原形は崩壊し、岩片状になる。	18 (42)			50/4												
4												16 (60)			50/4												
5											2.30～6.00m やや酸化汚染が認められるが、コア長は15cm以上の棒状として採取される。	11 (32)			50/3												
6	121.44	6.03		凝灰岩 Tf	白灰	B	Ⅲ	b	β	2	ハンマーの打撃で金属音を発する。	23 (82)	CM		50/3				2/18								
7																											

株式会社　日さく